

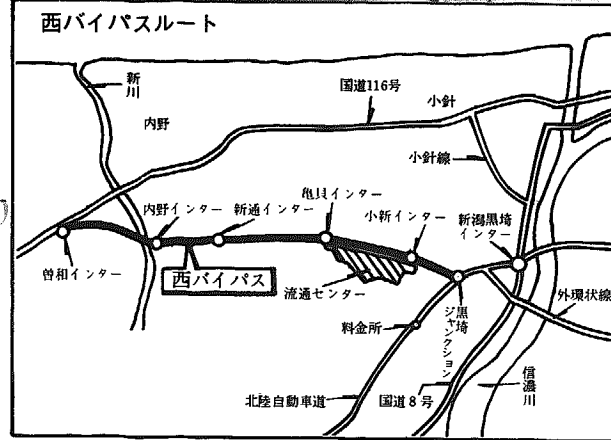
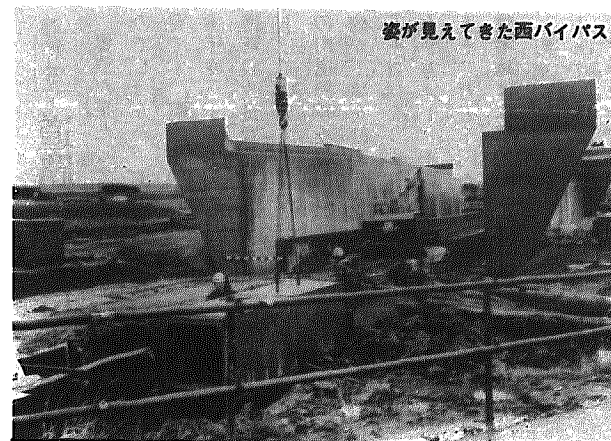
道が変える。見違える町にしたい

新しい道路と町の対応

さまざまな交通上の課題を抱える黒崎町。その解決には町だけでは対処できません。国や県、新潟市と一緒に検討していく必要があります。というのも、町には西バイパスをはじめ、小針街路、県道、新潟外環状線などの新しい道路が次々と造られるからです。町はこれらの新しい道路網に対応した町道の整備、新町道の建設に迫られ、立仏14号線、鳥原・寺地線の新町道に着手するとともに、新幹線側道の購入を決めました。

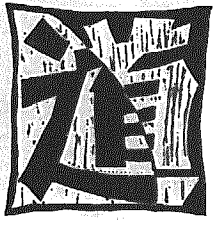
大きな影響を与える西バイパス

工事始まる。完成は63年か
近い将来、黒崎町に最も大きな影響を与えるのは新潟西バイパス（国道116号バイパス）です。西バイパスは北陸自動車道と国道116号



北陸道と連結するジャンクション、流通センターには小新インターチェンジが出来ます。完成は昭和六十三年が見込まれています。建設を結び、総延長七・二キロ。建設省が造ります。（左図参照）今年から黒崎町立仏から新潟流通センターまで、約八百メートルの第一期工事が始まりました。立仏には

現在、黒崎町には新潟市（西新潟）、流通センターなどから、国道8号、新潟黒崎インター、東新潟などへ向かう車が流れ込んでいます。（図1参照）これに町道や県道で対応しきれないことが、渋滞や騒音、震動公害を越えす大きな理由です。西バイパスの第一期工事が完了すると、交通の流れが変わり、交通量も減少すると予想されます。（図2参照）黒崎町の市街地を通過し、小新インターを利用すれば、国道8号、新潟バイパスへ出られるのです。二つのインターが町の魅力



特集・この道を生きかすみち
②新道編

＊小針街路：新潟市が建設中の都市計画道路で国道49号と県道新潟黒崎インター（旧国道8号）を結び延長三・三キロ。現在、黒崎町寺地地区を工事中で市側は通行できます。全線開通は昭和六十三年を予定していますが、まだ確定していません。



＊水原道新潟・寺泊線：県が県道新潟・龜田・内野線の交通緩和のため、同線を北場地内から善久地内の国道8号へ結びます。一部用地買収済み。完成すれば、町道善久・北場地線の震動、騒音公害が解消されると考えられます。

＊水原道新潟・燕線：木場地内で工事中。完成後は広域農道5号線、町道黒鳥・北場地線と結びます。

＊水原道新潟・寺泊線：昨年ルートが発表され今年一月に正式決定。北陸自動車道の新潟黒崎インター手前から山田地内を通り東新潟を走ります。延長は十四キロ。完成すれば国道49号まで北陸自動車道が延長される見込み。途中で東北自動車道にわかれます。黒崎町立仏にはこの外環状線と西バイパス、北陸道が接続するジャンクションが出来ます。黒崎町だけでなく新潟市、県を含む一大交通網を形成する道路です。事業は日本道路公団がするところですが、現在は未決定。現在いるところ具体的な用地買収などは煮つまっていません。詳しくは昨年の広報十二月号

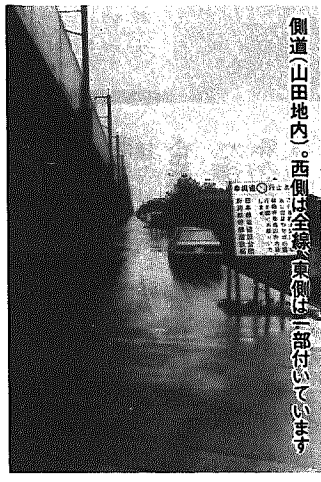
立仏14号線、鳥原・寺地線を建設

西バイパスを結ぶ道路を町では西バイパスへの連絡道路として、立仏14号線を建設中です。この道路は立仏から流通センターへ向かう延長四百二十メートル、幅員八メートルの道路でジャンクションの下を通ります。昨年度から工事を始め北陸道の東側は完成し、西側を工事中です。また、流通センターわきに広域

農道が走っており、将来は重要な道路です。昨年、町道黒鳥・北場線（延長二千八百メートル、幅員六メートル）に格上げし、今後整備を進める予定です。立仏14号線、黒鳥・北場線ともに新潟市道に続き、西バイパスに達します。町北部には基幹道路が必要。町北部には西バイパスのほかに小針街路や新潟外環状線が出来ま

すから、どうしても基幹道路が必要。そこで、幅員十二メートルの鳥原・寺地線を建設していただきます。延長は一千二百メートル。一

中心を貫く7キロの道
町は日本鉄道建設公団から上越新幹線の側道（西側全部と東側一部）を買うことを決めました。側道は幅が六メートル、長さが七百七十メートルで町を南北に貫いています。



側道の購入は広報で何度かお知らせしたように長い間、町の懸案事項の一つでした。それは①価格が高い。昭和五十七年に公団が提示した額は五億八千万円。②新潟交通電鉄と農業用水路で分断されている。踏切（山田）と橋（木場）が必要。③未整備、未舗装な所があり、整備に多額の経費がかかる。来年中には一部通行可能

予想される交通の流れの変化

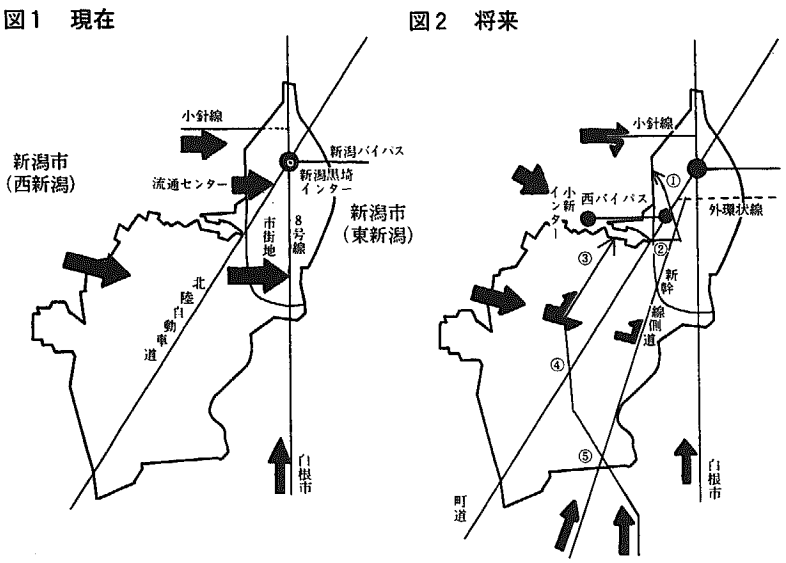
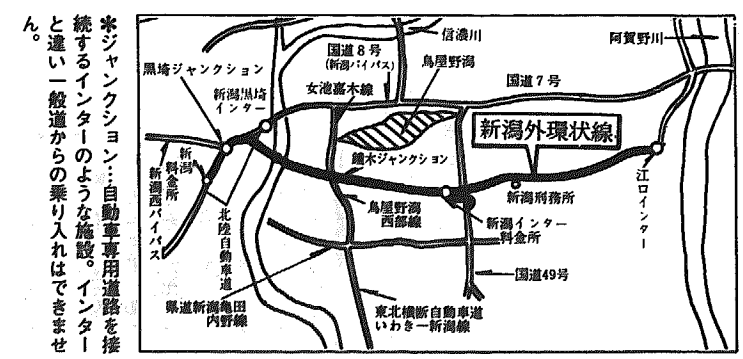


図1 現在
新潟市方面から黒崎町の市街地を車が通っています

図2 将来
西バイパスの小新インターが出来れば、そこに車が集中します ①鳥原寺地線 ②立仏14号線 ③黒鳥北場線 ④県道新潟燕線 ⑤広域農道5号線

町では郡内の味方村、湯東村、月瀧村と協同歩調で交渉を進めました。新潟市や県内の沿線市町村が購入を決めたこと、国鉄民営化が間近なこと、側道の必要性、を考え四町村一緒に合意し、町は公団と九月に協定書を結びました。①価格は一億七千二百二十四万円



＊ジャンクション：自動車専用道路を接続するインターのような施設。インターと違い一般道からの乗り入れはできません。